



2025 (令和7) 年 9 月 2 日 (火) 例会 (第2951回) 報告 (晴) No.2779

出席率 …… 29/45 64.44% 第2949回補正出席率 …… 40/45 88.89%

欠席者 安藤、大平、岡田、小板、佐藤、高橋、谷田、友森、中村、平岡、堀田、松本(勝)、三村、三輪、村山、渡邊(冬)

メイクアップ(米子東RC) 松井 (理事会) 11名

出席免除 足立、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 山崎慎也 会長

9月1日は「防災の日」で、関東大震災に由来し災害への備えを促す日です。日本は地震、台風、豪雪など様々な災害が起こりうる国です。本日は、企業の防災対策についてお話しします。

以下の3点が特に重要です：

1. 従業員の安全確保：耐震対策や避難通路の確保が必要です。
2. 事業の継続：BCP(事業継続計画)を整備し、災害時も業務を維持できるようにすることが重要です。
3. 地域との連携：避難場所の提供や地域との備蓄共有、自治体の訓練への参加が求められます。

防災対策を「もしもの備え」ではなく、日常的な習慣として実践し、災害に強い企業と社会を築いてまいりましょう。

◆パスト会長時間 庄司尚史 2011-12年度会長

8月14日に千玄室さん(102歳)がお亡くなりになりました。RI元理事、ロータリー日本財団の現理事長で、ロータリーにとっては大変なレジェンドです。私がガバナーを務めました2016年10月美保基地での地区大会には、RI会長代理をお努め頂きました。特攻隊の生還者として、また裏千家第15代家元として「一皿からピースフルネスを」を掲げて世界平和に尽くされた生涯でした。千玄室さんの平和への思いを受け継ぎ、微力でもお役に立てるように行動していかなければと思います。

◆幹事報告 定秀陽介 幹事

◎「5RC合同会員名簿」配布 ◎坂口G事務所より「月信第3号」「2026-27年度グローバル補助金 奨学生募集案内」
◎「財団室ニュース9月号」 ◎9月レート1\$=147円 ◎本日「9月定例理事会」

9月結婚記念日祝い

11日 石黒修一

11日 村山尚史 各会員



石黒会員

出席表彰

連続2年 浜田貴稔

10年 松本 正 各会員



浜田(貴)会員



松本(正)会員

◆委員会報告

— スマイルBOX —

◎結婚祝 石黒 ◎出席表彰 浜田(貴)、松本(正) ◎梶谷様をお迎えして。卓話、楽しみにしています。山崎、門脇、川田、小藤、木村、酒井(博)、清水、赫、中田、北國、鷺澤 ◎パスト会長スピーチをさせていただきます 庄司 ◎日曜日、ベニズワイカニカゴ漁が出漁しました。安全大漁に一年過ごせますように。喜多村 ◎早退します 小林 ◎スマイルに協力 黒田、酒井(英)

今年度計 159,000円(26.50%/目標60万円)

◎情報委員会…川田一郎 委員長

9/8(月)から「ベッシェ」にて夜話集会。ロータリーに関する資料を作成中。皆さんでそれを読んで大いに語り合ってください。

◎ゴルフ同好会…黒田 耕 会長

東京調布RCより、10/29(水)山梨県の名門「メイプルポイントゴルフクラブ」でのコンペ案内が届いています。2泊しての参加になりますが、希望される方はぜひ申し込みをお願いします。

— プログラム — 「ドローンによる新しい港湾サービス」 —

(有)遠藤通船 取締役 梶谷勇太 氏

①ドローンとは

遠隔操作または自動操縦で飛行することのできる無人航空機。

(マルチコプター型・固定翼型・VTOL型)



②ドローンの法律と規制

ドローンは「航空機」として扱われるため、航空法や各種法令の規制を受ける。使い方を間違えると法律違反になる。

登録制度…100g以上のドローンは国への機体登録が義務化
小型無人機飛行禁止法…国の重要施設や空港周辺等での飛行禁止

許可・承認が必要になる飛行…人口集中地区・夜間飛行等
免許制度…国家ライセンス制度スタート(2022年12月～)

飛行レベルの考え方…危険度によりレベル1～4

実務での注意点…許可・承認申請、損害保険、離発着地の許可等

③ドローンによる仕事

カテゴリー…空撮、点検・調査、測量・地図作成、農業支援、物流・配送、防災・災害対応、警備・監視

④当社でのドローン活用

物流・配送…食料品、日用品等を岸壁から船舶へ配送
網取り…船舶の係船補助

⑤当社の取り組み

目的…港湾を拠点とするドローン物流の社会実装を目指す。
平時からの運用体制整備により非常時(災害・緊急運送)にも即応可能な物流インフラを構築する。また、これにより地域経済や港湾機能の高度化にも貢献したい。

拠点…物流・配送/鳥取・島根・岡山ほか、網取り/境港

⑥まとめ

ドローン物流は災害時に道路などが寸断された状況でも、港湾から直接物資を届けられる唯一の手段になり得ます。また、港湾は平時には地域経済を支える拠点ですが、非常時には生命を守る物流の生命線となります。私たちはその物流インフラ構築に覚悟を持って臨んでおり、この取り組みは地域防災力向上にも資するものと確信しております。

今回(9月9日)プログラム

「フードバリアフリー社会を目指して」

(株)Food Marico 代表取締役社長 上田まり子 氏

次回以降
プログラム

(9月16日、23日)

2週休会

(定款7条、祝日)

(9月30日)

「職場訪問例会」

三光/境港エネルギーパワー